

産学金連携によるマッチングイベント 「日台半導体産業共創イベント」が開催されました!

2025年7月10日(木)、九州大学西新プラザで、日本と台湾の企業が持つ独自の強みと先進技術を活かして、相互協力を促進することを目的とした「日台半導体産業共創イベント」が開催されました。

主催：九州大学および台湾・国立陽明交通大学(以下、NYCU)

後援：九州経済連合会(KEF)、九州・沖縄地銀連携協定(以下、Q-BASS)

福岡銀行と十八親和銀行は、「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けて、九州・沖縄・山口の第一地銀13行での連携協定「Q-BASS」を締結しています。この協定により、各銀行が連携しシナジー効果を発揮することで、半導体関連産業の集積促進や、半導体を起点とした他産業および社会インフラの強化を図り、九州・沖縄経済のさらなる成長を目指しています。

2023年9月、九州大学とNYCUは、人材交流や共同研究開発に係る覚書(MOU)を締結し、半導体分野においては「産官学金連携の枠組みを活用した地域企業の半導体サプライチェーン(供給網)参入」を目標の1つに掲げました。

九州では、熊本県菊陽町に新工場を建設した半導体受託生産の世界最大手・TSMCを中心とした半導体サプライチェーンが今後新

たに形成されていくものと見られておりますが、地域の半導体関連企業にとってサプライチェーン参入の壁の高さが課題となっています。

そのため、九州大学とNYCUは、Q-BASSのネットワークを介し、地域企業と台湾TSMCサプライヤー企業における人材面と技術面での交流を促進し、地域企業の技術習熟向上の伴走支援を行うことで、地域企業の半導体サプライチェーン参入を目指すべく本イベントを開催しました。

Q-BASSは本イベントの後援として、台湾企業との協業に意欲的な取引先を紹介し、新たなビジネス機会やイノベーションの創出を支援しました。イベントでは、日台企業双方によるショー

トプレゼンテーションに続き、九州大学教授が同席での個別面談が実施され、マッチング成果としてはNDA締結準備中の企業もあり、今後の支援として技術マッチングや通訳支援の要望が多く寄せられました。

今後も福岡銀行および十八親和銀行は、FFGネットワークを活かしたQ-BASSの取り組みを通じて、九州における最先端デバイス半導体サプライチェーン構築による「新生シリコンアイランド九州」の実現を目指してまいります。



九州大学教授同席による個別面談の様子



イベント参加者の集合写真